

令和6年4月7日
開幕戦のベストショット



奈多グラウンド 塩浜ジャガーズ 対 奈多サンデーズ戦

緑の芝と桜満開の中での熱い戦いが始まる予感。

写真：三苦ホーネッツ 阿重田

奈多グラウンド いざ開幕戦！両チーム乱打戦を制したのは？

塩浜ジャガーズ（1敗）00060 6 内田●、立石一角

奈多サンデーズ（1勝）00180 9 塚本、砂場○-古賀（風）

3BH：立石（塩浜ジ） 盗塁：山崎（奈多サ）

桜満開晴天の下、令和6年度の開幕戦が行われた。一回表、奈多サンデーズ先発のエース・塚本投手の立ち上がりは、エラーと死球で一死一三塁のピンチを招くも、古賀（風）捕手が盗塁を阻止して無失点に抑える。一方塩浜ジャガーズの先発・内田投手は、三人で抑え最高の立ち上がりを見せる。その後は両チームの投手と好守備で均衡状態が続く。試合が動いたのは三回裏サンデーズの攻撃。二死から九番佐護選手が死球でチーム初出塁すると、一番山崎選手のライト前ヒットと四球で二死満塁。このピンチにジャガーズ内田投手は痛恨のパスボールで1点を失うも失点はこの1点だけ。その裏ジャガーズは主砲・四番立石選手が右越えの三塁打を放つと、続く荒木選手のライト前ヒットで同点に追いつく。その後三者連続ヒットで無死満塁のチャンスに代打福富選手がしぶとくライト前ヒットを打ち勝ち越し。その後ジャガーズは、サンデーズが二番手砂場投手に代わるもその勢いは止まらずこの回打者一巡し、無死から驚異の7連打で一挙6点を奪う。反撃したいサンデーズは四回裏、四番近藤選手、五番八島選手の連続ヒットと四球で無死満塁の大チャンス。ここで六番宮口選手のセンター前ヒットで反撃の狼煙

を上げると、九番佐護選手がセンター前ヒットを放ち2点を追加。サンデー怒涛の攻撃が続きこちらも打者一巡で8点を奪い試合をひっくり返した。逆転したいジャガーズだったが、尻上がりに調子上げてきた砂場投手を打ち崩す事が出来ず最後はWプレーで試合終了となった。開幕戦、ホームランは出なかったものお互い打線の繋がりがあり、開幕戦としてふさわしい大変見応えのある試合だった。

(記事：三苦ホーネッツ 隈崎 雄裕、写真：阿重田)



塩浜ジャガーズ集合写真。



奈多サンデーズ集合写真。



バックネット裏の桜が見守る中試合開始。



奈多サンデーズ先発の塚本投手。



塩浜ジャガーズ先発の内田投手。



四回表、先頭のジャガーズ立石選手の右越え三塁打。



四回表、奈多サンデーズ途中登板の砂場投手。



四回裏、サンデーズ宮内選手の強烈な当たりのタイムリー。



四回表、クロスプレーもセーフ。



四回裏、サンデーズ八島選手のセンター前ヒット。



奈多サンデーズ ベテラン木下選手の打撃ショット。



試合後の選手整列。



本日3出塁&ナイスランのサンデーズ佐護選手(左)と途中交代で勝利投手の砂場投手(右)。

青松園A 奈多クラブ、初戦白星スタート！！

奈多クラブ（1勝） 4 1 0 8 0 13 吉田○—安河内

三苦三球会（1敗） 1 0 1 0 0 2 今林●—蓑原

HR：今林（亮）2、吉田（奈多ク） 2BH：住田、安部（奈多ク）

一回表、奈多クラブは住田選手がレフト前ヒットで出塁すると、三苦三球会今林投手がコントロールに苦しみ6四球で4失点の大乱調。その後三球会はピッチャーを塚投手に交代し後続をしっかりと抑える。一回裏三球会の攻撃は、一番船橋選手、二番藤澤（康）選手が連続四球で出塁すると、四番大津選手のタイムリーヒットで1点を返す。二回表奈多クラブは、今林亮選手のHRで1点を追加。三回裏三球会は、船橋選手のヒット、続く藤澤（康）選手がセーフティバントで出塁すると、三番藤澤（隆）選手のショートへの打球をショートがエラー。その間に1点を返す。奈多クラブは四回表にも今林（亮）選手、吉田選手のHRを含む計8点を追加。その後は奈多クラブ吉田投手が最終回も無失点に抑え、2失点完投勝利とした。（記事・写真：和白新町パイレーツ 中島 孝志）



桜並木をバックに試合開始。



三苦三球会先発の今林投手、ほろ苦いデビュー戦となった。



一回表から急遽当番の三球会堺（達）投手。



五回2失点で勝利投手となった奈多クラブ吉田投手。



本日2HRを放った奈多クラブ今林（亮）選手。



歓喜のホームイン今林（亮）選手。



四回表、自らHRを放った吉田投手を迎え入れる奈多クラブベンチ。



本日のヒーロー奈多クラブ吉田投手（左）と今林（亮）選手（右）。

青松園B 緊迫した投手戦！制したのは…

ソルトベスターズ（1勝） 0 1 0 0 0 2 0 3 酒井〇一山の川

奈多フェニックス（1敗） 1 0 0 0 0 1 0 2 今林（勇）●一吉田、香山

2BH：中村（健）（ソルト） **盗塁**：中村（健）（ソルト）今林（勇）2、吉田、西藤（奈多フ）

奈多フェニックスは一回裏、二番今林（勇）選手が中前安打で出塁し盗塁で三塁まで陥れると、相手投手のWPにて先制をする。しかし直後の二回表、ソルトベスターズも負けじと五番中村（健）選手がライト線への二塁打を放つと、こちらも盗塁で三塁まで到達する。続く六番石井（飛）は四球を選び一死一三塁とすると打席には七番山の川選手。そして山の川選手の放った打球はショート正面に転がり、フェニックス内野陣は二塁で併殺を狙いにいったが、連携ミスにより三塁走者が生還。ソルトベスターズが同点に追いつく。尚もチャンスは続くがフェニックス先発の今林（勇）投手に後続打者は二者連続三振に打ち取られ追加点とはならなかった。その後は両チーム先発投手の好投や両チーム守備陣の好守もあり、五回までスコアボードに0が並ぶ緊迫した試合展開。再び試合が動いたのは六回表。ソルトベスターズ先頭の四番酒井選手が左前安打で出塁すると、続く五番中村（健）選手がチャンスを広げようと犠打を試みるもフェニックス西藤三塁手の好守により、これを阻止されてしまう。一死となり走者は入れ替わったが、続く六番石井（飛）選手の中前安打で走者を貯めると、WPでそれぞれ進塁し一死二三塁となり七番山の川選手が放った打球はセンターへのクリーンヒット。二塁走者まで生還し、2点を奪いこの試合初めてソルトベスターズがリードをする。リードを奪われてしまったフェニックスだが六回裏に1点奪い1点差に詰め寄るが、七回裏も走者は出したもののあと一本が出ずにゲームセット。ソルトベスターズが開幕戦を勝利で飾った。終盤まで両チームとも手に汗握るような試合展開で、随所に好プレーの光る、和白リーグ開幕に相応しい好ゲームであった。

（記事：雁の巣ライナーズ 明瀬 旭、写真：宇野 元康）



ソルトベイスターズ集合写真。



奈多フェニックス集合写真。



奈多フェニックス先発の今林（勇）投手。



ソルトベイスターズ先発の酒井投手。



一回裏、二飛タッチアップでホームを狙うフェニックス吉田選手。



二回表、二塁打を放ったソルト五番中村（健）選手。



五回表、好守でピンチを救ったフェニックス香山一塁手（右）。



六回表、決勝タイムリーを放つソルト七番山の川選手。



六回裏、1点差に詰め寄る一打フェニックス五番今林（英）選手。



六回裏、ソルト内野陣の好連携で追加点を許さない。



七回表、フェニックスも得点を許さない好守を見せる。



本日のヒーロー、フェニックス打線を2失点で抑え完投勝利の酒井投手（右）、
その酒井投手をリードし決勝打を放った山の川捕手（左）。

令和6年度和白ソフトボールリーグ開幕式

令和6年4月7日、快晴の桜満開の中で青松園グラウンドにて今年も和白ソフトボールリーグの開幕式が行われた。まず今季から会長に就任した山本健一新会長（新町ウインズ）の挨拶が行われ、次いでご来賓の方々の紹介と代表して今林ひであき東区ソフトボール協会会長の祝辞、昨年度優勝チーム三苦ホーネッツの優勝旗・カップ返還、準優勝チーム（三苦三球会、奈多サンデーズ、奈多フェニックス）、躍進賞（ブルーマーリンズ）のレプリカ授与、執行役員・各チーム運営委員の紹介が行われた。最後に満開の桜と晴天をバックに集合写真を撮影し、滞りなく令和6年度の和白ソフトボールリーグが開幕した。これから楽しくも熱い戦いが繰り広げられることを期待する。



山本健一 新会長挨拶。



ご来賓の方々。



今林ひであき氏による祝辞。



昨年度優勝の三苦ホーネッツによる優勝旗返還。



昨年度準優勝の3チーム（三苦三球会、奈多サンデーズ、奈多フェニックス）にレプリカ授与。



昨年度躍進賞のブルーマーリンズによる盾の返還。



本年度も熱くソフトボールを楽しみましょう。